

目標達成計画

作成日: 平成27年1月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	理念をより深く理解する機会を作る事で、さらに具体的なサービスの向上につながると思われる。	より多くの職員が施設の理念についてより深部にまで理解ができ、健全な仕事冥利を感じ、介護の方向性を各個人でもチームでも健全に見出す。	毎朝の申し送り後には、理念の唱和を行い、理解を深め、日々の介護の中に理念の何が含まれるかを考え、年に1回、施設の理念についての研修会を行い皆で考え、感想や検討の記録を残し、次の発展を目指す。	12ヶ月
2	20 (8)	馴染の人や場との関係継続の支援	各利用者様が年に1回は懐かしい家族や親族思い出の場所や人に合って、昔を思い出し、自分のアイデンティティーや存在意義を再確認できるように支援する。	各利用者様の生活史や思い出について、各職員が深い理解を示すための活動を行い、その活動を基に、年に1回の大切な利用者様の縁を活かす活動を行う。	12ヶ月
3	23 (9)	思いや意向の把握	各利用者様の毎日の思いや生活の希望について適切に専門職らしく、また、専門職を目指す者らしく、気持ちを理解する工夫や技術を活用して利用者様と職員が、1日に何度でも健全に笑顔になれる支援をする。	毎日の各個人記録に、午前と午後の笑顔の様子を記録して、利用者様が嬉しくなることや笑顔になる事を各職員が理解できるように工夫し、利用者様を健全に支援し笑顔の回数を増やし、利用者様の信頼を得て、気持ちを伝えやすく出来る様に心的環境を整える。	12ヶ月
4	35 (13)	夜間で想定した避難訓練や地域の協力体制の構築も行われると更に良いと思われる。	年に1回でも地域の方との避難訓練、もしくは夜間の避難訓練を職員と行う。	運営推進会議等を通して、地域の方々へ年に1回の避難訓練を呼びかけ、実施する。もしくは、夜間の避難訓練を利用者様に無理なく、まず職員と実行する。	12ヶ月
5	54 (20)	居心地よく過ごせる居室の配慮	各利用者様の様態の変化に合わせた適切な居室空間の配慮を行う。	各利用者様の生活の変化に合わせた居室空間の配慮ある対応を行う。転倒についての工夫や本人の動きやすい為の対応を考える。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。